

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



みんなでココナッツを食べてます。(カンボジア孤児院)

3月を過ぎ、4月に差し掛かるこの時期、私の居住する北海道旭川もやっと春が近づいて来たことを感じさせます。桜の開花はまだひと月以上先ですが、今年は少し早い予想のようです。

日本の陽気とは異なりますが、私共の各孤児院の子どもたちも元気であるとの報告を受け、いつもながら、皆さまの御支援、御協力に本当に感謝する思いであります。

その孤児院の中で、カンボジア孤児院では、今、同国社会福祉省の認可更新の時期がきております。その規定の中で、銀行の通帳に毎月の運営費の約三ヶ月分の残高があること、が明記されております。約三ヶ月分ですと、約100万強の額となり、事務局でも大きな課題となっております。なるべく早くの送金、とのことですが、正直まだ出来ていない状況です。

そこで大変心苦しいのですが、皆さまの御支援、御協力を是非、お願いいたしたいと思います。また、他の孤児院にも多くの必要があることも事実であります。

どうぞ皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。以前から中耳炎を繰り返していたTRが、学校の身体検査で再発していたことがわかり、耳のクリニックを再受診しました。クリニックの方に聞いてみたところ、次の手術予定は3月末頃ということで、現在耳の左側の手術(耳垂れを止める為)を受ける予定で準備をしています。また、3月中旬の前期試験を前にして、中学生のYが学校で足をねじってしまい、捻挫だと思っていたのですが、骨折でした。1週間ほど学校を休むことになり、試験が気になる所ですが、問題なく試験に臨めるようにと祈り願っています。3月に入って、オートバイで市場に買出し向かっていた女性スタッフ達が、後ろから2人ずつオートバイに乗って来た男性組に買物がごを引っ張られて、中に入れていた現金や携帯電話などを盗まれました。幸いにオートバイは倒されず、スタッフ達も危害を加えられることなく無事でした。4月はお正月を迎える為か、盗難強盗事件が増えているとは聞いていましたが、子ども達とスタッフ達が日々怪我事故悪い者からも守られて過ごせるように、さらに対応を取って行きたいと思っています。



公園で遊ぶ女の子たち

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

2017年～2018年の学年も残り少なくなりました。今年度の最後にあたる進級式は、今のところ小学校が3月24日、中学校は4月4日の予定になっています。その後、新学期が始まる6月まで夏休みに入ります。4月6日には高校の卒業式があり、今年度はマハヤハイから3名が高校を卒業します。またスアワンの1名が中学を卒業し高校へ進学します。今年度も皆様のご支援により50名の子どもたちが学校へ通うことが出来たことを心から感謝致します。また全員が無事進級試験に合格したことを感謝を持ってご報告致します。礎の石孤児院就学支援プログラムを通して、これまで多くの子どもたちが高校卒業まで学校に通うことが出来ています。皆様の暖かいご支援により、子どもたちの人生がより良いものへと大きく変えられていることを、いつも心から感謝しております。来年度も、子どもたちが学校へ通い続けることが出来るように、またさらに多くの子どもたちを助けることが出来るように、是非皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



学校の給食の時間

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?  
皆様の、日頃の温かいご支援に心から感謝申し上げます。数ヶ月前に交通事故で大怪我をしたジェームズが、ようやく松葉杖なしでも歩けるほどに回復して、しかも先日の集会の中で、自分の体験をみんなに分かち合ってくれました。もともと、両親の不仲と貧困等、様々な理由で家を飛び出し、ストリートでの生活を送っていた。入院している時に父親が見舞いに来ましたが、開口一番に、怪我を負ったことを責められ、怒鳴られ、一切の治療に関わる費用は出さないことを告げられたそうです。どうしたらいいのかわからずに途方に迷いましたが、スタッフから、治療費の支援が与えられたことを告げられて、とても励まされたそうです。命を失ってもおかしくない怪我から生還したのは、きっと神様が何か自分に計画があつてのことだと思い、今後は苦しんでる仲間たちを助けるために生きていきたい、と、語ってくれました。皆様のご支援に心より感謝します。これからもジェームズへのご支援をお願いします!



集会で話すジェームズ

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。日本に一時帰国して1ヶ月がたちました。ご心配をおかけしましたが、体調は完全に回復しました。今日本では、梅や桜の花が咲き始めて綺麗です。先日は礎の石孤児院の東京・五反田の事務所を訪問することができました。理事の方々にお会いして、ブラジルでの働きについて報告させていただく時が与えられ、色々な視点でのご指導やアドバイスをくださり、とても収穫多い時となりました。そして、北安曇野郡小谷村で報告会の時を用意してくださり、多くの方が集まる中、お話をさせていただきました。日頃からご支援くださっている方々もたくさん集まっておられ、限られた時間ではありましたが、個人的にご挨拶することができました。支援してくださっている皆様の励ましに力づけられました。さらに多くの場所で支援要請活動ができますように願っています。引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



サポーターの方と松本スタッフ